スイスでの交流活動を終えて

松井南菜子

私はスイスでの交流活動を通して、学び得たものが多くあった。スイスに行く前は、現地の人と英語でうまくコミュニケーションをとれるか不安もある一方で、初めてのホームステイにとても期待していた。

スイスに到着して特に印象に残ったのは、美しい景色や街並みだ。日本ではあまり見ることのできない山々や、外国ならではの街並みを実際に見ることができ、とても感動した。写真で見たことはあっても、実物の迫力はとても素晴らしかった。私の心に残っている景色は、ユングフラウヨッホで見た氷河だ。天気も良かったため、遠くの方まで見渡すことができ、とてもきれいだった。

ツェルマットで一番印象に残っているのは、ホストファミリーと過ごした時間だ。ホームステイ中は一緒にゲームをして遊んだり、食事中に会話を楽しむことができた。自分の国や家族のことについて、相手と言葉を交わしながら知ることができたのは、とても良い経験になったと思う。ホストファミリーと過ごした時間は、スイスでの大切な思い出になった。そして、学校訪問では、現地の授業を実際に体験したり、新しい友達もつくることができたり、とても楽しい時間となった。

今回の交流事業を通して、言葉や文化が違っても、自分から伝えようとする姿勢が大切ということが分かった。完璧な英語で、伝えたいと思った内容をすべて伝えることができたわけではないが、自分から伝えたいという気持ちがなによりも大事なのだと思った。海外の人と実際に交流したことで、以前よりも積極的にコミュニケーションを取ろうとする意識が高まった。

この活動で得た経験を、これからの生活にも生かしていきたい。特に、英語で自分の気持ちを伝えることの楽しさを知ったので、これからも英語の勉強を続け、より多くのことを伝えられるようになりたい。スイスでの経験を 1 度きりの思い出にするのではなく、これからの自分の成長につなげていきたいと思った。